

第 16 回 ALPS 研究会

日時：2025(令和 7 年)年 7 月 19 日(土曜日)11:00 より

場所：那覇文化芸術劇場なはーと 小劇場

11:00～11:50	一般講演 1	なはーと小劇場
12:00～12:50	ランチョンセミナー	なはーと小劇場
13:00～13:50	特別講演	なはーと小劇場
14:00～14:50	一般講演 2	なはーと小劇場
15:00～16:00	幹事会	なはーと小劇場 2F 楽屋 S5

16:00～17:30 患者会交流イベント(患者会 HPP HOPE、アレクシオンファーマ合同会社共催)
サウスウエストグランドホテル 2F THE GRAND ROOM(沖縄県那覇市久茂地3丁目 29-52)

18:00～20:00 研究会懇親会 サウスウエストグランドホテル 11F
The Sailor's Club(沖縄県那覇市久茂地3丁目 29-52)

連絡先：第 16 回ALPS研究会世話人
中村 博幸(琉球大学顎顔面口腔機能再建学)
Email: hna@me.com

参加者の皆様へ

- ・参加費 3,000 円を受付でお支払ください。
- ・ネームタグをお渡しいたします。各自記入の上、研究会開催中はお付けください。

発表者の皆様へ

1. 発表時間

- ・一般演題:発表 7 分 討論 3 分 合計 10 分

2. 発表方法

- ・口演は、全て一面のみのパソコンによるプレゼンテーションです。
- ・スライド表記は日本語あるいは英語、ご発表は日本語をお願いします。
- ・発表データは PC 受付にてお渡しください。
- ・次演者は演台前の次演者席で待機をして下さい。
- ・発表終了 1 分前と終了時に呼鈴でお知らせします。

講演プログラム

10:55～11:00 開会の辞 中村博幸(琉球大学顎顔面口腔機能再建学)

11:00～11:50 一般講演 1

座長: 二藤 彰先生(鶴見大学歯学部薬理学講座)

P1. 分光学的解析法を用いた硬組織の分析と低ホスファターゼ症の病態解明

足立 哲也¹、今村 隼大^{1,2}、足立 圭司¹、大迫 文重¹、高橋 有希³、佐藤 秀夫⁴、朱 文亮²、Giuseppe Pezzotti⁴

¹:京都府立医科大学 大学院医学研究科 歯科口腔科学, ²:京都工芸繊維大学 セラミック物理学, ³:東京歯科大学 薬理学講座, ⁴:鹿児島大学 医歯学域附属病院 小児歯科, ⁴:関西医科大学 大学 医工学センター

P2. 低フォスファターゼ症 iPS 細胞を用いた骨分化における間葉系幹細胞由来因子の役割

梶谷尚世¹、Yang Jiahao²、服部美保¹、舩金聖也²、鞍嶋有紀²、竹谷健^{1,2}

¹島根大学医学部附属病院再生医療センター、²島根大学医学部小児科

P3. 低ホスファターゼ症に対する新規治療薬(遺伝子治療薬: AAV8-TNAP)の有効性と安全性の検討

松本多絵^{1,2}、Flavia Amadeu de Oliveira³、Cintia Kazuko Tokuhara³、三宅紀子⁴、趙東威²、田嶋華子¹、折茂英生⁵、島田隆⁴、成澤園子³、José Luis Millán³、三宅弘一²

¹ 日本医科大学小児科学, ² 日本医科大学遺伝子治療学, ³ Sanford Children's Health Research Center, Sanford-Burnham-Prebys Medical Discovery Institute, La Jolla, CA, USA, ⁴ 日本医科大学分子遺伝学, ⁵ 日本医科大学代謝栄養学

P4. 非ヒト霊長類における低ホスファターゼ症に対する遺伝子治療薬(AAV8-TNAP)の有効性および安全性の前臨床評価

趙東威¹、三宅紀子²、松本多絵^{1,3}、田嶋華子³、折茂英生⁴、島田隆²、José Luis Millán⁵、田中美幸⁶、中沢洋三⁶、三宅弘一¹

¹ 日本医科大学遺伝子治療学, ² 日本医科大学分子遺伝学, ³ 日本医科大学小児科学, ⁴ 日本医科大学代謝栄養学, ⁵ Sanford Children's Health Research Center, Sanford-Burnham-Prebys Medical Discovery Institute, La Jolla, CA, USA, ⁶ 信州大学医学部小児医学教室

P5. ALPL 遺伝子に c.550C>T ヘテロバリエーションを有する低ホスファターゼ症症例と保因者の検

討

中山尋文^{1,2}、島田貴明¹、植田郁実¹、石見壮史¹、山田知絵子¹、伊藤由作¹、服部真也¹、中野由佳子¹、山本賢一^{1,3}、藤原誠¹、門田珠実⁴、大川玲奈⁴、窪田拓生⁵、北岡太一⁶、大藺恵一⁷、秋山倫之⁸、大幡泰久¹、北畠康司¹

¹ 大阪大学大学院医学系研究科小児科学、² 大阪大学大学院歯学研究科顎顔面口腔外科学、³ 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻生命育成看護科学講座、⁴ 大阪大学大学院歯学研究科小児歯科学講座、⁵ 大阪母子医療センター腎・代謝科、⁶ 医誠会国際総合病院小児科、⁷ 医誠会国際総合病院難病医療推進センター、⁸ 岡山大学大学院小児発達病因病態学分野

11:50～12:00 休憩

12:00～12:50 ランチョンセミナー（共催：アレクシオンファーマ合同会社）

座長：中村博幸先生（琉球大学顎顔面口腔機能再建学）

仲野和彦先生（大阪大学大学院歯学研究科小児歯科学）

“HPP における歯科所見のアップデート—この 15 年のアプローチで見えてきたもの”

12:50～13:00 休憩

13:00～13:50 特別講演

座長：窪田拓生先生（大阪大学大学院歯学研究科小児歯科学講座）

道上敏美先生（大阪母子医療センター研究所骨発育疾患研究部門）

“低ホスファターゼ症診療ガイドラインの改訂”

13:50～14:00 休憩

14:00～14:50 一般講演 2

座長：北岡 太一先生（医誠会国際総合病院難病医療推進センター）

P6. 低ホスファターゼ症病態形成機構における無機リン酸産生障害と細胞外 ATP シグナルの関与

山崎美和¹、上田亜侑^{1,2}、中西達郎¹、立川加奈子¹、川井正信³、大藺恵一⁴、道上敏美¹

¹ 地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 研究所 骨発育疾患研究部門、² 大阪大学大学院 歯学研究科 口腔外科学第一、³ 地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 研究所 分子遺伝・内分泌代謝研究部門、⁴ 医誠会国際総合病院

難病医療推進センター

P7. 当科の低ホスファターゼ症診療の現状

北岡太一¹、中道龍哉¹、齋藤広幸^{1,2}、大藺恵一^{1,2}

¹医誠会国際総合病院小児科、²医誠会国際総合病院難病医療推進センター

P8. 乳歯早期脱落を契機に受診し、ビタミン D 欠乏性くる病と診断した 2 症例 —低ホスファターゼ症との鑑別の重要性—

根本(山本)晴子¹、田嶋華子²

¹日本大学松戸歯学部小児歯科学講座、²日本医科大学付属病院小児科

P9. 低ホスファターゼ症の根治に向けて、患者会に何ができるのか

小野澤 侑

NPO 法人 HPP HOPE

14:50 閉会の辞 中村博幸(琉球大学顎顔面口腔機能再建学)